

当組合ホームページ「医療費のお知らせ」で 切り替え可能なジェネリック医薬品が見られます！

当組合ホームページの「医療費のお知らせ」では、医療費の確認だけでなくジェネリック医薬品へ切り替え可能な薬剤名や切り替えた場合に削減可能な金額が確認できる「ジェネリック医薬品のお知らせ」を配信しております。

「医療費のお知らせ」にログインしていただき、医療費の確認ページから **ジェネリック医薬品** を押下すると見ることができますのでぜひご活用ください。

※すでに、ジェネリック医薬品を使用している人や切り替え可能なお薬がない人は **ジェネリック医薬品** の表示はありません。



イメージ

医療費の確認

番号	姓	生年月日	診療年月	日数	診療区分	医療機関	医療費の総額	療養費が支払った額	医療費の内訳 国・市町村が支払った額	療養費の窓口で支払った額
令和6年04月更新分										
本人		S40/07/19	R06/01	1日	医外	〇〇病院	6,150	4,305	0	1,845
本人		S40/07/19	R06/01	1日	調剤	〇〇薬局	17,580	12,306	0	5,274
妻		S42/02/26	R06/01	1日	医外	〇〇病院	2,530	1,771	0	759
妻		S42/02/26	R06/01	1日	医外	〇〇病院	11,380	7,966	0	3,414
妻		S42/02/26	R06/01	1日	調剤	〇〇薬局	3,360	2,352	0	1,008
合計							41,000	28,700	0	12,300
<div>ジェネリック医薬品 (療養費)</div> <div>※左記のボタンを押下すると、処方された医薬品のうち、医療費が削減できるジェネリック医薬品が表示されます。</div>										
総合計							41,000	28,700	0	12,300

ジェネリック医薬品のお知らせ

ジェネリック医薬品への切替 最大削減額									
¥2,730									
番号	姓	診療 年月	診療 区分	医療品の内訳 薬名/医療品 医薬品名	薬価	使用量 単位	窓口 負担額	ジェネリックの内訳 薬名	窓口 負担額
令和6年04月更新分									
本人		R06/01	調剤	〇〇薬局					
				ネキシウムカプセル 20mg	90.00	1	2,457	エソメプラゾールカプセル 20mg 「DSEF」	41.80 1,092 1,365
								エソメプラゾールカプセル 20mg 「YD」	41.80 1,092 1,365
								エソメプラゾールカプセル 20mg 「杏林」	41.80 1,092 1,365
								エソメプラゾールカプセル 20mg 「ケミファ」	41.80 1,092 1,365
								エソメプラゾールカプセル 20mg 「サワイ」	41.80 1,092 1,365
								削減可能額	1,365 ~ 1,365

昨年、「ジェネリック医薬品のお知らせ」発送後の令和7年1月から令和7年4月までを対象に効果分析を行ったところ、当組合の負担額が概算で**年間3億1,500万円削減**される見込みとなりました。

ジェネリック医薬品をご利用いただきましてありがとうございます。

引き続き医療費の削減にご協力くださいますようお願いいたします。

問合せ

東京実業健康保険組合 審査第二課 TEL 03-3663-1361(代)

ジェネリック医薬品を使って お薬代を節約

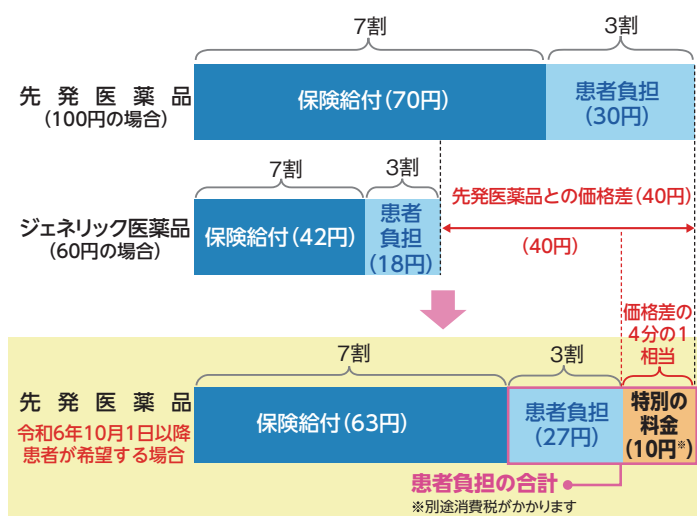
これだけ
薬剤費が
違います！

ジェネリック医薬品は、新薬（先発医薬品）と同一の有効成分を同一量含み、同一の効能・効果を持つお薬です。研究開発費用を低く抑えることができることから、新薬と比べてお薬代が安くなっています。ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師に相談してみましょう。

	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差 額
高 血 圧 症 代表的なお薬を1日1回、 1年間服用した場合	¥14,616	¥ 5,652	¥ 8,964 安い
脂質異常症(高脂血症) 代表的なお薬を1日1回、 1年間服用した場合	¥39,924	¥ 9,612	¥30,312 安い
糖 尿 病 代表的なお薬を1日3回、 1年間服用した場合	¥16,272	¥ 8,820	¥ 7,452 安い
花 粉 症 代表的なお薬を1日1回、 6ヵ月間服用した場合	¥ 8,028	¥ 3,024	¥ 5,004 安い

ジェネリック医薬品のある先発医薬品を希望する場合は特別料金が発生します

特別の料金の計算（医療費3割負担の場合）



ジェネリック医薬品と長期収載品（ジェネリック医薬品のある先発医薬品）の差額の4分の1を患者さんご自身の全額負担として支払う仕組みが令和6年10月1日から始まりました。そのため、患者さんの負担が増える可能性があります。ジェネリック医薬品を選択することで、負担を安く抑えることができます。



「ジェネリック医薬品のお知らせ」の送付について

当組合では、現在服用されているお薬のうちジェネリック医薬品へ切り替え可能なお薬と、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に軽減できる見込額を試算した「ジェネリック医薬品のお知らせ」の発送を行っております。

今年度も12月中旬に発送を予定しておりますので、ジェネリック医薬品への切り替えをご検討いただく際の参考にお役立てください。

- 令和6年7月から令和7年6月までに受診歴があり、ジェネリック医薬品へ切り替えた場合に一定の軽減が見込まれる方へお送りいたします。
- すべての組合員にお送りするわけではありませんのでご了承ください。